

愛知県山岳連盟 第22回遭難を考える講演会

御嶽山噴火

-生還者の証言 噴火災害から登山者は何を学ぶのか-

講師:小川さゆり 氏(山岳ガイド)

2018年11月30日(金)19:20~20:40

愛知県スポーツ会館 大会議室

参加費 無料



概要:2014年9月27日午前11時52分、紅葉でにぎわう晴天の土曜日、そしてお昼、もっとも登山者でにぎわう最悪のタイミングで御嶽山は突然噴火した。山頂周辺は火碎流であつという間に闇となり、爆発とともに空に舞い上がった無数の噴石が登山者を襲った。犠牲者58名、行方不明者5名。あの日、噴石が激しく飛び交った山頂周辺には150人程の登山者がいたといわれている。この噴火の最中に、生死を分けたのは何か。生還者のひとりとして、自らが学んだ教訓を、伝え継ぎ生かしたい。

講師紹介:小川さゆり 長野県駒ヶ根市出身。南信州山岳ガイド協会所属。信州登山案内人、日本山岳ガイド協会登山ガイド、中央アルプス地区遭対協救助隊員。噴火当日、単独でガイドの下見中、山頂直下で噴火に遭う。

アクセス

①地下鉄名城線「名城公園」

下車 1番出口から西へ徒歩約7分

②名古屋高速道路楠線「黒川出口」

西へ約1km

